

発行日 2017年2月  
 発行所 特定非営利活動法人いこま国際交流協会  
 TEL 090-8237-2463 (夜間のみ)  
 E-Mail [info@ikoryu.net](mailto:info@ikoryu.net) ホームページ [www.ikoryu.net](http://www.ikoryu.net)



\*\*\*\*\*

**(特活) いこま国際交流協会  
 第11回総会開催しました。**

\*\*\*\*\*

2006年7月8日に非営利活動法人いこま国際交流協会が発足して10年、7月17日(日)に、いこま国際交流協会第11回総会を開催しました。

昨年(2016年)はこれまでの10年の活動を振り返り、これからの活動を展望するために ikoryu 連続学習会を開催しました。学習会では、現在外国にルーツを持つ子どもたちが直面している課題を知り、保護者の思いに触れることができました。

今回の第11回総会は、10周年を記念する総会であり、活動方針を審議するとともに本協会顧問であり在日大韓民国民団奈良県地方本部副団長の金潤哲さんより連続学習会の締めくくりとして「行基菩薩の功績から学ぶ生駒の歴史と課題」をテーマに記念講演をしていただきました。

総会終了後は、記念レセプションとして会員同士の交流会を併せて開催しました。今回の総会・交流会には50人以上の会員皆さんが集まりました。レセプションでは、本協会の理事でもある塗輝さんによるフルスの演奏、喜多計夫さんのテルミンの演奏、フルーティスト牧井美江さんによるフルート演奏を聞かせていただき和気あいあいとした交流の時間を過ごすことができました。会員の皆さんからいただいた

パワーで今年も楽しい活動を企画していきたいと思っております。



\*\*\*\*\*

**ハロハロ☆ikoryu オーストリア day 開催～**

オーストリアの料理を作って学ぼう

ヨーロッパの食文化～

\*\*\*\*\*

昨年9月4日にハロハロ☆ikoryu フィリピン day を開催しました。講師はフィリピン出身の竹口ジェナリンさん。フィリピンの春巻き「ルンピアジャンハイ」とマカロニスープ「ソーパス」、併せてブラジルのおかし「マリア・モーリ」を作りました。どこの家庭でもすぐに作ることができそうなメニューで参加者からも「家で作ってみたいです。」という声が聴かれました。多くの島、言語を持つフィリピンのお話も興味深かったです。

次回はオーストリア出身のリングホーファーさんよりオーストリアの料理を教えてくださいヨロップの食文化についてお聞きします。多くの皆さんの参加をお願いします



**ハロハロ☆ikoryu オーストリア day**

日時：2017年3月5日(日) 10:00～13:00

場所：たけまるホール 調理室

内容：ウィーン風カツレツ、スープ、マッシュポテト、サラダを作ります。

講師：リングホーファー・マンフレッドさん

参加費：800円(会員500円)

持ち物：エプロン・三角巾・ふきん・タオル

申し込み：E-mail [entry@ikoryu.net](mailto:entry@ikoryu.net)

はがき：生駒市元町1-7-6 ららポート気付

いこま国際交流協会

\*\*\*\*\*

だい かいこくさいこうりゅう  
第15回国際交流ひろば

わいわいワールドを開催しました。

\*\*\*\*\*

今年も「国際交流の集い～わいわいワールド  
(主催：生駒市、生駒市教育委員会、企画運営：  
ikoryu) を開催しました。今年のわいわいワールド  
の参加ゲストティーチャーは、8カ国でした。子ども  
たちも保護者と共に150人以上の参加がありました。  
特に今年は、当日弟や妹と一緒に参加したり、  
保護者に手を引かれた小さな子どもたちが  
小学生の子どもたちの見学の合間に保護者と参加  
する姿も見られ、和気あいあいとした交流ひろば  
になりました。



開会式に市長さんからのメッセージをいただきました。

♪オープニング

ゲストティーチャーの出身国の言葉で挨拶し、自己紹介をしました。

♪交流タイム

市民ゲストから「音楽」をテーマにお話をいただき楽器や歌、それぞれの国の遊びなどを楽しみました。



コートジボアール

台湾・中国



ロシア



コリア



アメリカ



インドネシア



タイ



メキシコ

♪おやつタイム  
子どもたちが大好きなおやつタイム。  
外国人ゲストが用意したおやつをいただきました。



♪全体交流

ikoryu ワールドサークルによるフラダンスを会場全体で踊って盛り上がりました。



♪エンディング

最後は、市民ゲストのアーチの中を歩いて「さようなら」

来年度もたくさんの子  
どもたちが参加し楽し  
める国際交流ひろば

にしたいと思います



\*\*\*\*\*

# 第10回ikoryu音楽祭を

## 開催しました。

\*\*\*\*\*

12月4日(日)生駒市南コミュニティセンターにて、第10回ikoryu音楽祭を開催しました。10年の節目を迎えた音楽祭では、東アジアの音楽を中心に日本・沖縄・韓国・中国・インドネシアの舞踊・歌・楽器演奏を楽しみました。

沖縄のエイサーに始まり、韓国舞踊、中国の二胡の演奏、歌、ヤンガー、ikoryu ワールドサークルの子どもたちによるフラダンス、インドネシアのアンクルンの演奏そしてエンディングの阿波踊りとそれぞれの国の特徴ある音楽・楽器演奏・踊りを会場に駆けつけてくださった参加者の皆さんと共に楽しむ音楽祭となりました。



司会の毛さんと金さん

琉球國祭り太鼓  
奈良支部の皆さん



ナムジョンソンセンニム  
南妊秀先生と  
ハンサモの皆さん



ikoryu ワールドサークル  
の子どもたち



奈良県中帰国者  
連絡会の皆さん



林琳さん

インドネシア ナイスターズ



大仏連の皆さん

エンディングは参加者全員の阿波踊りで盛り上がりました。

### Ikoryu音楽祭に参加して

#### 金知燮

私は、韓国の小学校教員で、この3月までの1年半、奈良教育大学で教員研修生をしています。ikoryu音楽祭は、この研修生活の中で、最もわくわくして楽しかった経験の一つです。そこで、人生における初の司会役をつとめました。そして、国や地域、言語や国籍に関係なく、誰でも感動できる媒体が、まさに「音楽と踊り」ということを改めて感じました。

韓国では、小学校の音楽の時間に、世界の様々な音楽や踊りについて学びます。他の授業時間とは異なり、とても楽しく集中して鑑賞する子どもたちを見ながら、「動画鑑賞ではなく、実際の音楽会に参加できる機会があったらいいのに…」と惜しく思っていました。韓国に帰って、ikoryu音楽祭のような素敵な音楽会があったら、子どもたちと一緒に参加してみたいです。そして、子どもたちに、私の ikoryu音楽祭での大事な経験を必ず伝えたいです。

世界の素敵な音楽と踊りを直接見て、聞いて、感じて、出演者たちと交流する機会をくださったことに、本当に感謝します。これからもより多くの人たちが、ikoryu音楽祭を通じて感動と楽しさを感じることを願って文を終えます。ありがとうございます。

\*\*\*\*\*

## デティクラブで子どもたちは

げんき かつどう  
元気に活動しています。

\*\*\*\*\*

「生駒市民が選択する市民活動団体支援制度（マイサポいこま）」に今年もデティクラブの活動を登録しました。マイサポでは、161人の市民の皆さんの選択をいただき 109,156円の支援をいただけることになりました。厚く感謝申し上げます。

本年度のデティクラブも新たに多くの子もたちや保護者の皆さんの参加をいただき1月までに6回の事業を開催しました。今年7月の参議院選挙のため2月18日に最後の会を残していますが、皆さんの支援のおかげで今年も新たなゲストティーチャーを迎えて充実した事業内容を行うことができました。5月はコートジボアール、6月は韓国、9月はロシア、10月はアメリカ、12月は中国、1月はメキシコにそれぞれルーツを持つゲストティーチャーをお招きし紙芝居やその国発祥の楽器、遊び、行事などバラエティに富んだ内容を教えていただきました。



♡ 多文化共生・国際都市「いこま」をめざして ♡  
生駒市外国人登録者数 60 カ国 1,116 人 (2016.12)

ikoryu 会員随時募集中！

- 正会員 個人 1口 3,000 円 (年会費)
- 団体 1口 10,000 円 (年会費)
- 賛助会員 1口 1,000 円 (年会費)
- 会費納付先 郵便振替 00940-0-192898

加入者名 いこま国際交流協会

会員になると ikoryu 主催の催しの参加費が無料または割引になります。

## <多文化共生教育の現場から>

### —マレーシア編—

渋谷 真樹

一昨年の夏、マレーシアを訪れました。マレーシアは、とても多民族な国です。多数を占めるのはマレー系の人々ですが、中華系が4分の1、インド系も1割弱を占めています。ごく狭いエリアに、モスクと仏教寺院とヒンズー寺院がひしめいているようすは壮観です。

中華系のマレーシア人である友人が、新しく作られた行政都市プトラジャヤを案内してくれました。計画された広い道路や重厚な建物、華やかな噴水などをながめながら、彼女の話の話を聞きました。彼女は、家族とは中国語を話していますが、街ではマレー語を話し、職場では英語を多く使っているそうです。バイリンガルならぬ、トリリンガルですね。ちなみに、彼女が選んでくれたレストランは、マレーでも中華でもなく、ペルシア料理でした。

マレーシアには日本人駐在員も多く住み、首都クアラルンプールには、大きな日本人学校があります。教え子がふたり、その学校に勤務しており、年間を通したプール指導やマレーシア人の先生との連携に、がんばっていました。夏には、日本国外では最大級と言われる盆踊り大会が盛大に開かれ、マレーシア人も観光客も含めて、東京音頭を踊ったり、焼き鳥を食べたり、おいに盛り上がっているそうです。



### ～つれづれトーク～

少し前まで暖かかった冬が突然の最強寒波で厳しい寒さが襲っています。また、日本と韓国・中国との関係も政治の上では様々な課題が取りざたされ報道がなされています。Ikoryu は、これからも外国にルーツを持つ人たちと隣人としてどう共に生活していくのかという視点で国際交流や国際関係を考えていきたいとおもいます。